

令和2年度畜産・酪農生産力強化対策事業(令和元年度補正)
繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕

『OPU-IVP 技術研修会 ー基本技術編ー』

於；岩手大学 農学部附属 FSC 御明神牧場

開 催 要 領

1 目 的

(1) 事業目的

畜産・酪農の生産力強化を図るためには、地域の課題となっている繁殖性の向上や子牛の損耗防止等の技術的な問題を改善していくことが必要となる。

そこで、本事業では、先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関(畜産試験場、大学等)に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を開催する。

(2) 研修会目的

畜産・酪農の生産力強化を図るうえで、繁殖性の向上、とりわけ胚移植用の牛胚供給数不足に対応することや、もって牛の品種改良を図ることが地域の課題となっている。

そこで、本研修会では、超音波ガイド生体内卵子回収一体外牛胚生産(OPU-IVP)技術を活用して、地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、黒毛和種及びホルスタイン種牛胚の生産、流通、移植にかかわる岩手県内の県職、農業協同組合連合会、共済、開業等の獣医師を対象に、OPU-IVP 技術を実際に体験・研修していただく。

2 主 催 公益社団法人 畜産技術協会

3 開催日時及び場所

(1) 日 時 令和2年11月10日(火)13:00~11日(水)12:30(10日12:30~受付)

(2) 場 所 国立大学法人 岩手大学 農学部附属
寒冷フィールドサイエンス教育研究センター(FSC)御明神牧場
(〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野)

4 研修内容

- (1) 生産現場における OPU-IVP によるウシ胚生産と課題 (講義)
- (2) 食肉処理場由来卵巣からの卵子吸引・回収 (実習)
- (3) 生体由来卵子回収(OPU)1、体外受精の準備 (実習)
- (4) 生体由来卵子回収(OPU)2 (実習)
- (5) 食肉処理場由来卵子の体外受精 (実習)
- (6) アンケート

5 講 師 国立大学法人岩手大学農学部附属 FSC 御明神牧場 准教授 平田 統一 氏

6 募集要項 5名

- (1) OPU-IVP 技術を畜産の生産現場で活用しようとする岩手県内の獣医師(初・中級者)
- (1) 受講後営利目的なしに地域で指導できる者とする
- (2) 受講から1年後にアンケートにご回答いただける方

7 参加費用 研修会の受講料は無料

8 持ち物 作業着、帽子、雨具、防寒具、マスク等

9 参加申込

受講をご希望の方は、10月21日(水)必着、別紙「研修会申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail(申込書をメールに添付)で事務局あて事前申し込みをお願いします(FAX不可・当日参加不可)。

なお、締め切り後、選考ののちメールにて受講の諾否を通知いたしますので、受信用メールアドレスを必ずご記入ください。

10 申込先 公益社団法人 畜産技術協会 担当：管理部 企画課 渡邊、氏里

TEL：03-3836-2301 E-mail：oubo@jlta.jp

11 その他

防疫の関係上、受講者は10月28日(水)以降、海外に渡航、滞在せず、11月7日(土)から研修終了までの期間、他の畜産関係施設等に立ち入らないようお願いします。また、普段農場で使用している衣服、長靴等の持ち込みはご遠慮ください。防護服、長靴はこちらで準備いたします。サイズを申込書にてお知らせください。

12 新型コロナウイルス感染症対策として下記にご協力をお願いいたします

1 受付にて非接触型体温計による検温と手指の消毒を実施いたします

2 下記に該当する方はご出席をご遠慮ください

① 発熱症状(37度以上)のある方

② ご家族に発熱症状(37度以上)のある方

③ 2週間以内に発熱や感冒症状で医療機関を受診された方

④ 2週間以内に新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と認定された方

3 受講中はマスクの着用をお願いいたします

4 受講中に体調不良になった場合は、近くのスタッフに速やかに申し出てください

5 会場は感染症対策を十分に行いますが、万が一、出席者の中に感染者が出た場合には、本会からその他の出席者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡いたします。

また、濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の養成が行われる可能性があることをご理解願います。

6 受講にあたり、受講生の皆様には「自己責任」による参加とし、万一新型コロナウイルス感染症に感染された場合も本会及び岩手大学農学部は責任を負いません。

受講予定の方は、感染防止対策に万全を期していただきますようお願い申し上げます。

【協会からのお知らせ】

研修会開催要領、参加申込書につきましては、当協会ホームページでもダウンロードが可能です。

また、今後の研修会につきましても、ホームページで随時更新予定です。

公益社団法人畜産技術協会 HP：<http://jlta.lin.gr.jp/> News&Topicsをご確認ください。

皆様のご参加をお待ちしています！

タイムスケジュール

【令和2年11月10日(火)】

〔敬称略〕

時間	項目および内容	場所
12:30～ 12:55	受付	岩手大学農学部御明神 総合施設学生玄関
13:00～ 14:00	生産現場における OPU-IVP によるウシ胚生産と課題（講義） 岩手大学農学部附属 FSC 御明神牧場 准教授 平田 統一	御明神牧場牛舎
14:00～ 15:00	食肉処理場由来子宮・卵巣からの卵子吸引・回収（実習）	御明神牧場牛舎
15:15～ 17:00	生体由来卵子回収(OPU)1、体外受精の準備（実習）	御明神牧場牛舎

【令和2年11月11日(水)】

〔敬称略〕

時間	項目および内容	場所
9:00～ 10:30	生体由来卵子回収(OPU)2（実習） 岩手大学農学部附属 FSC 御明神牧場 准教授 平田 統一	御明神牧場牛舎
10:45～ 12:00	食肉処理場由来卵子の体外受精（実習）	御明神牧場牛舎
12:00～ 12:30	アンケート回収、解散	岩手大学農学部御明神 総合施設学生玄関

※ 時間は多少変更になることがあります

※ 場所と連絡先: 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター(FSC)御明神牧場

〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野 電話 019-692-3031、メール hirata@iwate-u.ac.jp